

## 日本語音声トレーニング記録

### —ロシア人日本語学習者のトーンに着目して—

#### A Record of Japanese Training

#### How a Russian student could acquire difficult tones in Japanese

グセイノーヴァ・スヴェトラーナ  
(新潟県費留学生・池田研究室研究生)

### 1. はじめに

日本語学習者には、文法や語彙などが正しく使えたとしても、話し方に違和感があったり、発音が正しくないため話を通じにくい者がある。私自身の専門は日本語で、日本語について色々勉強してきた。しかし、4月に来日して、日本語が通じないこともたびたびあった。その原因は、発音の不正確さというよりむしろ、トーンの間違いや発話のリズムが異なることからくると感じるが多かった。そのせいで、人前で話す機会に、急に自分の発話に自信が持てなくなったりもした。これをきっかけに、私は自分の発話を改善する方法を考えたいと思った。また、自分の日本語の発話を改善する方法を探すと同時に、日本語の音そのものにも興味を持つようになった。

本稿では自分が新潟大学で受けた発話矯正トレーニングについて報告し、長年の癖となってしまった、いわば化石化した間違った日本語のトーンも修正が可能であることを示す。

また、日本語を学習しているロシア語母語話者が日本語を発話する際のトーンの特徴を調べ、ロシア人日本語学習者が注意すべき点も指摘した。

### 2. 実際のトレーニングの内容

以下に実際のトレーニングの内容について記す。

#### 2. 1. テキスト音読

まず、どこに、どういう間違いがあるかを見つけるために私はテキストを読んで、録音し、それを先生と一緒に聞いた。すると、発音より単語のアクセントの位置が問題であることがわかった。また、音の長さ（拍）が違っているという間違いも見られた。この間違いを取り除くために日本語の言葉のアクセントの付け方をトレーニングした。当初は正しい日本語の発話が私の耳には間違った日本語に聞こえるという事態が起こった。理由は、私がロシア語の母語話者であり、ロシア語のトーンのパターンに慣れているので、日本語もロシア語のトーンで聞こうとしていたことにある。これは、私の日本語の学習歴に原因があるともいえる。大学で日本語学習を始めた時に、日本語の音声についてのトレーニングが不十分で、かつ日本語の音声についての知識（=情報）もなかった。新しい単語を習って、意味や使い方

は覚えても、アクセントの位置などの音声情報については、まったく白紙のままだった。

もちろん学習者が全ての単語の音声情報を獲得することは難しいが、日本語としての基本アクセントパターンは最低習得しておくべきであった。ここで言う基本アクセントパターンとは、標準日本語では第1拍と第2拍のトーンが必ず変わるということである。これを意識するだけで、テキストを読むときの私のトーンが明らかに良い方に変わってきた。何より有効だったのは、以前にはトーンの違いが意識できなかったのが、意識化できるようになったことである。

基本アクセントパターンについて学習したあとは、複合語のアクセントルールについて、指導を受けた。音読で使ったテキストには複合語が多く出現しており、そのアクセントを習得するだけで、発話全体のトーンがかなり改善されると考え、単語単体でのアクセントのトレーニングと、複合語の一部として出現した場合でのアクセントトレーニングを並行して行った。以下に実際にトレーニングに使用した単語の一部を挙げる。

| 単 語                                  | 単 語                                  | 複 合 語  |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 新潟<br>に <sup>い</sup> が <sup>た</sup>  | 大学<br>だ <sup>い</sup> が <sup>く</sup>  | 新潟大学<br>に <sup>い</sup> が <sup>た</sup> だ <sup>い</sup> が <sup>く</sup>  |
| 大学<br>だ <sup>い</sup> が <sup>く</sup>  | 教育<br>きよ <sup>う</sup> い <sup>く</sup> | 大学教育<br>だ <sup>い</sup> が <sup>く</sup> きよ <sup>う</sup> い <sup>く</sup> |
| 教育<br>きよ <sup>う</sup> い <sup>く</sup> | 活動<br>か <sup>つ</sup> ど <sup>う</sup>  | 教育活動<br>きよ <sup>う</sup> い <sup>く</sup> か <sup>つ</sup> ど <sup>う</sup> |
| 活動<br>か <sup>つ</sup> ど <sup>う</sup>  | 領域<br>りよ <sup>う</sup> い <sup>き</sup> | 活動領域<br>か <sup>つ</sup> ど <sup>う</sup> りよ <sup>う</sup> い <sup>き</sup> |
| 領域<br>りよ <sup>う</sup> い <sup>き</sup> | 侵犯<br>し <sup>ん</sup> ぱ <sup>ん</sup>  | 領域侵犯<br>りよ <sup>う</sup> い <sup>き</sup> し <sup>ん</sup> ぱ <sup>ん</sup> |
| 侵犯<br>し <sup>ん</sup> ぱ <sup>ん</sup>  | 対策<br>た <sup>い</sup> さ <sup>く</sup>  | 侵犯対策<br>し <sup>ん</sup> ぱ <sup>ん</sup> た <sup>い</sup> さ <sup>く</sup>  |

□で囲んだのは高い音で発音される部分である。

これらの複合語は、すべて1つの単語内ではトーンの高いところが1か所だけ出現するという標準日本語のアクセントのルールに沿ったものである。

| 前半部分            | 後半部分             | 結 果             | 説 明  |
|-----------------|------------------|-----------------|--|
| ↑<br>原因<br>げんいん | ↑<br>究明<br>きゅうめい | ↑↓<br>げんいんきゅうめい | 複合語の前半部分後半部分のそれぞれの単語のトーンが2拍目で上がるタイプの場合、前半部分は最後までトーンが下がらず、後半部分は本来トーンが上がる拍で下がるという逆転現象が起きる。 |
| ↑<br>通信<br>つうしん | ↓<br>機器<br>きき    | ↑↓<br>つうしんきき    | 前半部分も後半部分も元の単語のアクセントを踏襲している。   |
| ↓<br>評価<br>ひょうか | ↑<br>基準<br>きじゅん  | ↑↓<br>ひょうかきじゅん  | 複合語の前半部分のトーンが2拍目で下がるタイプで、後半部分のトーンが上がるタイプの場合は、前半部分と後半部分の両方の単語で逆転現象が起きる。                   |
| ↓<br>国家<br>こっか  | ↓<br>権力<br>けんりょく | ↑↓<br>こっかけんりょく  | 複合語の前半部分のトーンが2拍目で下がるタイプで、後半部分のトーンが上がるタイプの場合は、前半部分と後半部分の両方の単語で逆転現象が起きる。                   |

\*元の単語のトーンのパターンから交代現象が起こっている矢印には下線を記した。

## 2. 2. ロシア語のトーンのパターンと日本語のトーンのパターンの違いの意識化

ロシア語のトーンのパターンと日本語のトーンのパターンの違いを意識化するために、ロシア語のニュースを聞いて、ロシア語母語話者がロシア語のテキストを読んだ場合のトーンの特徴をイメージ化するトレーニングを行った。

## 2. 3. 私のデータ

以下に私が来日してすぐに音読したデータを記す。なお、私が読んでトーンが高かった部分を四角で囲み、標準日本語としてトーンを低く読むべきところにはアンダーラインを引いた。そうすれば、読み方が正しければ、アンダーラインの部分と四角で囲まれた部分が交互に出現することになる。逆にアンダーラインと四角の囲み両方が現れたり、どちらも現われなかったりした部分は、トーンが間違っているということになる。

5月、12月のデータを比較するために上段に5月録音データ、下に12月録音データを記した。以下が音読のテキストと実際の記録である。

- 最近グローバル化という言葉がよく使われますね。それは地球規模ということですね。私はよくインターネットを利用しますが、それで各国の情報が得られるのも、通信網がひとつの国だけではなくて、世界中に広がっているからです。企業においても、海外に目を向け、世界中に投資するようになりましたね。その結果経済的に発達する地球もありますが、一方で貧富格差も広がっているようです。
- 最近、企業の倒産や、失業のニュースが多いですね。
- そうですね。日本企業の特長だった年功序列が崩れて、中高年のリストラが問題になっていますね。定年まで1つの会社で働くという終身雇用からはなれて、自分から退職して、ベンチャー企業を起こす人もいますね。 (出典不詳)

さいきん グローバルかということばが よくつかわれますね。

さいきん グローバルかということばが よくつかわれますね。

それは ちきゅうきほということですね。

それは ちきゅうきほおということですね。

わたしは よく インターネットをりようしますが、

わたしは よく インターネットをりようしますが、

それで かつこくのじょうほうがえられるもの、えられるもの、

それで かつこくのじょうほうがえられるもの、

つうしんもうが ひとつ (の) く にだけで (は) なくて、

つうしんもうが ひとつのくにだけでなくて、

せかいじゅうに ひろがっているからですね。

せえかいじゅうに ひろがっているからですね。

きぎょうにおいて、 かいがい にめをむけ、

きいぎょうにおいて、 がいこくに めをむけ、

せかいじゅうに どうしするようになりましたね。

せえかいじゅうに どうしするようになりましたね。

そのけっか け (い) ざいてきに はったつするちきゅうもありますか、

そのけっか けいざいてきに はったつするちきゅうも ありますか、

いっぽうで ひんぷかくさも ひろがっているようですね。  
いっぽうで ひんぷかくさも ひろがっているようですね。

さいきん、きぎょうのとうさんや、しつぎょうのニュースがおおいですよ。  
さいきん、きぎょうのとうさんや、しつぎょうのニュースがおおいですよ。

そうですね。にほんきぎょうのとくちょうだった ねんこうじょれつがくずれて、  
そうですね。にほんきぎょうのとくちょうだった ねんこうじょおれつがくずれて、

ちゅうこうねんのリストラが もんだいになっていますね。  
ちゅうこうねんのリストラが もんだいになっていますね。

ていねいまで ひとつのかいしゃで はたらくという  
ねんていまで ひとつのかいしゃで はたらくという

しゅうしんこおようから はなれて、  
しゅうしんこようから はなれて、

じぶんからたいしょくして、ベンチャーきぎょうを おこすひとも いますね。  
じぶんからたいしょくして、ベンチャーきぎょうを おこすひとも いますね。

明らかに、全体としてトーンが改善されているのがわかる。特に1拍目が低く2拍目でトーンが上がる語について改善が見られる。ただし、意味の切れ目に現れるテ形や助詞では、依然として上げ調子のトーンになってしまっているのも明らかである。

さらに以下には1月に受けた日本語クラスのテストでの音読データを記す。その場でテキストを与えられて、20分間だけ練習時間を与えられて音読したものである。

最近の携帯電話には、新しい追加機能がいっぱいだ。写真機能は当たり前で、添付ファイルが読めたり、動画送信も可能だ。テレビ電話として使っている人も結構いるようだ。携帯電話に限らず、通信技術の発達は日進月歩で目を見張るものがある。

(新潟大学日本語クラステスト用オリジナル文)

さいきんのけいたいでんわには、  
あたらしいつかきのうが いっぱいだ。  
しゃしんきのうは あたりまえで、てんぷファイルがよめたり、  
どうがそうしんも かのうだ。

テレビでんわとしてつかっているひとも けっこういるようだ。  
 けいたいでんわにかぎらず、つうしんぎじゅつのはったつは  
にっしんげっぽで めをみはるものがある。

2010年1月29日録音

全体としてのトーンはかなり改善されたことがわかる。ただ、意味の切れ目での上げ調子を改善することが、トーンについての今後の課題となる。

約10カ月にわたって、発話トレーニングを受けて、自身の日本語の発話はかなり改善されたが、このことが他のロシア人の日本語初話指導に使えるかどうかを調べるために、ロシア語一般の音声的特徴をみて、他のロシア人の日本語発話の特徴についても考察した。以下はそのまとめである。

### 3. ロシア語の特徴

#### 3. 1. アクセント

ロシア語のアクセントは呼気の力と関係があり、そのためロシア語のアクセントは強弱のアクセントと考えられる。ロシア語では、アクセントはどんな音節にもつけることができるが、大抵は単語にある語根か接尾語の音節に付くと見られる

| 第1音節                   | 第2音節                     | 第3音節                     |
|------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ма'ма (ma'ma)<br>母     | соба'ка (soba'ka)<br>犬   | полотно' (polotno')<br>布 |
| де'рево (de'revo)<br>木 | воро'на (voro'na)<br>からす | молоко' (moloko')<br>牛乳  |

また、ロシア語のアクセントは移動アクセントであり、文法的に単語の形が変わるとアクセントをもつ音節も変わることがある。例えば、

| 第2音節にアクセント                | 第1音節にアクセント                  |
|---------------------------|-----------------------------|
| сте'на (stena)<br>かべ wall | сте'ны (ste'ni)<br>かべ walls |

また、複合語である多音節語の場合は、1つの単語に2つ以上のアクセントがあってもかまわない。ただしその場合は、第二アクセント（弱いアクセント）は前（最初に出てくる単語）に付き、第一アクセント（強いアクセント）が後ろ（語末近くに出てくる単語）に付く。

例えば、以下の例は2つ以上の単語をつなぎ合わせてできた複合語なので、アクセントが2か所にある。それぞれの語の語根部分にアクセントが付くと考えられる。

|   |                 |                |                 |
|---|-----------------|----------------|-----------------|
| ки'нокарти'на<br>(ki'nokarti'na)<br>映画作品                          | ки'но<br>映画     | карти'на<br>作品 |                 |
| само'лётоприборострое'ние<br>(samo'letopriborostroe'nie)<br>飛行機製造 | самолё'т<br>飛行機 | прибо'р<br>機械  | строе'ние<br>製造 |

しかし、多音節語でも一つのアクセントしか付かないものもある。

|   |
|---|
| самостоя'тельный (samostoya'telni)<br>一人前 |
| общежи'тие (obsheji'tie)<br>寮             |
| добросо'вестный (dobroso'vestni)<br>丁寧    |

表の中の3つの言葉は、多音節語だがアクセントは1カ所のみである。これらの単語は複合語として成立していないため、いわゆる語根部分にしかアクセントが付かないためである。

これらの多音節語の第一のアクセントの位置を見ると、後ろから2番目か3番目の音節についていることが分かる。しかし、音節ではなく拍として考えると、後ろから2番目にアクセントが付いていることが分かる。

ここで、日本語のアクセントのルールと比べてみよう。日本語は語の最初の拍と次の拍の間で必ずトーンの入替えが起こる。最初の拍が高いトーンなら、第2拍は低いトーン。逆に最初の拍が低いトーンなら、第2拍は必ず高いトーンという具合である。

つまり、日本語には語の始めに必ずトーンの差が出現し、それが日本語らしい音の特徴・リズムを生み出していると考えられる。一方ロシア語の場合は、アクセントは基本的に語の後半（後ろから2拍目の、2もしくは3音節目）に見られるので、語の後半が必ず音が高く強くなり、日本語とは違ったリズムを生み出している。それぞれについてのイメージを記すと次のようになる。

日本語

●○○○○

○●○○○ ○●●○○ ○●●●○ ○●●●●

※●は高ピッチ、○は低ピッチ

ロシア語

○○○●○

## 3. 2. ロシア語の音節

ロシア語の場合一個の母音といくつかの子音の組み合わせで音節を形成している。子音は母音の前後に付くので、基本的に必ず母音で終わる日本語とは、当然違ったリズムを生む。以下にロシア語の単音節語の例を示す。

|                                  |                           |
|----------------------------------|---------------------------|
| 母音の前に子音がない音節                     | 母音の前に子音が1つの音節             |
| V (я) ya 私                       | CV (на) na ~の上            |
| VC (ад) ad 地獄                    | CVC (кот) kot 猫           |
| VCC (иск) isk 訴訟                 | CVCC (мост) most 橋        |
| VCCC 該当例なし                       | CVCCC (шерсть) sherst 毛   |
| 母音の前に子音が2つの音節                    | 母音の前に子音が3つの音節             |
| CCV (кто) kto だれ                 | CCCV (утро) 朝             |
| CCVC (стол) stol 机               | CCCVVC (вздох) vzdoh ため息  |
| CCVCC (крест) krest 十字           | CCCVCC (вдрызг) vdrizg 酔う |
| CCVCCC 該当例なし                     | CCCVCCC 該当例なし             |
| 母音の前に子音が4つの音節                    |                           |
| CCCCV 該当例なし                      |                           |
| CCCCVC (взгляд) vzglyad 視線       |                           |
| CCCCVCC (всплеск) vsplek はね上げること |                           |
| CCCCVCCC 該当例なし                   |                           |

通常ロシア語では単語の前から3ないしは4音節目にアクセントを置くことが多い。以下に4音節語と5音節語の例をあげ、アクセントの位置を示す。

| 4音節語                            |       | 5音節語                             |       |
|---------------------------------|-------|----------------------------------|-------|
| водопрово́д<br>(vodoprovo'd)    | 水道    | информа́тика<br>(informa'tika)   | 情報学   |
| выключа́тель<br>(viklyucha'tel) | スイッチ  | одновре́менно<br>(odnovre'menno) | 同時に   |
| ежего́дний<br>(ejego'dni)       | 毎年の   | однообра́зный<br>(odnoobra'zni)  | 単調な   |
| своево́льный<br>(svoevo'lni)    | わがままな | иссле́довать<br>(issle'dovat)    | 研究をする |



| 4 音節語                          |         | 5 音節語                             |       |
|--------------------------------|---------|-----------------------------------|-------|
| акаде'мик<br>(akade'mik)       | 科学アカデミー | исправле'ние<br>(ispravle'nie)    | 修正    |
| дружелю'бие<br>(dryjelyu'bie)  | 好意      | авиа'ция<br>(avia'ciya)           | 航空    |
| сниже'ние<br>(snije'nie)       | 減少      | агити'ровать<br>(agiti'rovat)     | 宣伝をする |
| треуго'льник<br>(treysto'lnik) | 三角形     | замеча'тельный<br>(zamecha'telni) | 素晴らしい |

見ての通り、単語の後ろの方にアクセントが置かれている。前述のように、ロシア語ではアクセントは音の強さと長さによって表されるので、この癖が日本語を発話する際にも出現するはずである。

### 3. 3. ロシア人が日本語を読んだ場合に現われる特徴

母語としてのロシア語が、ロシア人日本語学習者のどういう発話に影響が出るかを確認するため、日本語を学習している他のロシア語母語話者6人にも日本語のテキストを音読してもらって、それを録音した。それぞれの被験者に読み方の特徴があったが、予想通り、私の間違いと他の被験者の間違いに、共通している点が多かった。以下は6人の被験者の発話を録音した結果である。以下に音読のテキストを再掲する。

- 最近グローバル化という言葉がよく使われますね。それは地球規模ということですね。私はよくインターネットを利用しますが、それで各国の情報が得られるのも、通信網がひとつの国だけではなくて、世界中に広がっているからですよ。企業においても、海外に目を向け、世界中に投資するようになりましたね。その結果経済的に発達する地球もありますが、一方で貧富格差も広がっているようですね。
- 最近、企業の倒産や、失業のニュースが多いですよ。
- そうですね。日本企業の特長だった年功序列が崩れて、中高年のリストラが問題になっていますね。定年まで1つの会社で働くという終身雇用からはなれて、自分から退職して、ベンチャー企業を起こす人もいますね。 (出典不詳)

日本語を学習している6人のロシア人の母語話者の録音したデータを比較すれば、多くの間違ったところが重なっているのがわかる。

日本語音声トレーニング記録

- ① さいきん グローバルかということばが よくつかわれますね。
- ② さいきん グローバルかということばが よくつかわれていますね。
- ③ さいきん グローバルかということばが よくつかわれますね。
- ④ さいきん グローバルかということばが よくつかわれますね。
- ⑤ さいきん グローバルかということばが よくつかわれますね。
- ⑥ さいきん グローバルかということばが よくつかわれますね。

- ① それは ちきゅうきぼということですね。
- ② それは ちきゅうきぼということですね。
- ③ それは ちきゅうきぼということですね。
- ④ それは ちきゅうきぼということですね。
- ⑤ それは ちきゅうきぼということですね。
- ⑥ それは ちきゅうきぼということですね。

- ① わたしはよく インターネットをりようしますが、
- ② わたしはよく インターネットをりようしますが、
- ③ わたしはよく インターネットをりようしますが、
- ④ わたしはよく インターネットをりようしますが、
- ⑤ わたしはよく インターネットをりようしますが、
- ⑥ わたしはよく インターネットをりようしますが、

- ① それで かつこくのじょうほうがえられるのも、
- ② それで かつこくのじょうほうがえられるのも、
- ③ それで かつこくのじょうほうがえられるのも、
- ④ それで かつこくのじょうほうがえられるのも、
- ⑤ それで かつこくのじょうほうがえられるのも、
- ⑥ それで かつこくのじょうほうがえられるのも、

- ① つうしんもうが ひとつのくにだけではなくて、
- ② つうしんもうが ひとつのくにだけではなくて、
- ③ つうしんもうが ひとつのくにだけではなくて、
- ④ つうしんもうが ひとつのくにだけではなくて、
- ⑤ つうしんもうが ひとつのくにだけではなくて、
- ⑥ つうしんもうが ひとつのくにだけではなくて、

- ① せかいじゅうに ひろがっているからですよ。
- ② せかいじゅうに ひろがっているからですよ。

- ③ せかいじゅうに ひろが(ってい)るからですよね。  
 ④ せかいじゅうに ひろがっ(てい)るからですよね。  
 ⑤ せかいじゅうに ひろがっ(てい)るからですよね。  
 ⑥ せかいじゅうに ひろがっ(てい)るからですよね。

- ① きぎょうにおい(て)も、かいが(い)にめをむけ、  
 ② きぎょうにおい(て)も、かいが(い)にめをむけ、  
 ③ きぎょうにおい(て)も、かいが(い)にめをむけ、  
 ④ きぎょうにおい(て)も、かいが(い)にめをむけ、  
 ⑤ きぎょうにおい(て)も、かいが(い)にめをむけ、  
 ⑥ きぎょうにおい(て)も、かいが(い)にめをむけ、

- ① せかいじゅうに どうし(す)るようになりましたね。  
 ② せかいじゅうに どうし(す)るようになりましたね。  
 ③ せかいじゅうに どうし(す)るようになりましたね。  
 ④ せかいじゅうに どうし(す)るようになりましたね。  
 ⑤ せかいじゅうに どうし(す)るようになりましたね。  
 ⑥ せかいじゅうに どうし(す)るようになりましたね。

- ① そのけっか けいざいてきに はったつ(す)るちきゅう(も)あります(が)、  
 ② そのけっか けいざいてきに はったつ(す)るちきゅう(も)あり(ま)すが、  
 ③ そのけっか けいざいてきに はったつ(す)るちきゅう(も)あります(が)、  
 ④ そのけっか けいざいてきに はったつ(す)るちきゅう(も)ありますが、  
 ⑤ そのけっか けいざいてきに はったつ(す)るちきゅう(も)ありますが、  
 ⑥ そのけっか けいざいてきに はったつ(す)るちきゅう(も)あります(が)、

- ① いっ(ぽう)で ひん(ぶ)かく(さ)も ひろがっ(てい)るようですね。  
 ② いっ(ぽう)で ひん(ぶ)かく(さ)も ひろがっ(てい)るようですね。  
 ③ いっ(ぽう)で ひん(ぶ)かく(さ)も ひろがっ(てい)るようですね。  
 ④ いっ(ぽう)で ひん(ぶ)かく(さ)も ひろがっ(てい)るようですね。  
 ⑤ いっ(ぽう)で ひん(ぶ)かく(さ)も ひろがっ(てい)るようですね。  
 ⑥ いっ(ぽう)で ひん(ぶ)かく(さ)も ひろがっ(てい)るようですね。

- ① さい(きん)、きぎょうのとう(さ)ん(や)、しつ(ぎょう)のニュース(が)おおい(です)よね。  
 ② さい(きん)、きぎょうのとう(さ)ん(や)、しつ(ぎょう)のニュース(が)おおい(です)よね。  
 ③ さい(きん)、きぎょうのとう(さ)ん(や)、しつ(ぎょう)のニュース(が)おおい(です)よね。  
 ④ さい(きん)、きぎょうのとう(さ)ん(や)、しつ(ぎょう)のニュース(が)おおい(です)よね。

- ⑤ さいきん、きぎょうのとうさんや、しつぎょうのニュースがおおいですよね。  
 ⑥ さいきん、きぎょうのとうさんや、しつぎょうのニュースがおおいですよね。

- ① そうですね。にほんきぎょうのとくちょうだったねんこうじょれつがくずれて、  
 ② そうですね。にほんきぎょうのとくちょうだったねんこうじょれつがくずれて、  
 ③ そうですね。にほんきぎょうのとくちょうだったねんこうじょれつがくずれて、  
 ④ そうですね。にほんきぎょうのとくちょうだったねんこうじょれつがくずれて、  
 ⑤ そうですね。にほんきぎょうのとくちょうだったねんこうじょれつがくずれて、  
 ⑥ そうですね。にほんきぎょうのとくちょうだったねんこうじょれつがくずれて、

- ① ちゅうこ（う）ねんのリストラがもんだいになっていますね。  
 ② ちゅうこうねんのリストラがもんだいになっていますね。  
 ③ ちゅうこ（う）ねんのリストラがもんだいになっていますね。  
 ④ ちゅうこうねんのリストラがもんだいになっていますね。  
 ⑤ ちゅうこうねんのリストラがもんだいになっていますね。  
 ⑥ ちゅうこうねんのリストラがもんだいになっていますね。

- ① ていねんまで1つのかいしゃではたらくという  
 ② ていねんまでひとつのかいしゃではたらくという  
 ③ ていねんまでひとつのかいしゃではたらくという  
 ④ ていねんまでひとつのかいしゃではたらくという  
 ⑤ ていねんまで1つのかいしゃではたらくという  
 ⑥ ていねんまで1つのかいしゃではたらくという

- ① しゅうしんこようからはなれて、  
 ② しゅうしんこようからはなれて、  
 ③ しゅうしんこようからはなれて、  
 ④ しゅうしんこようからはなれて、  
 ⑤ しゅうしんこようからはなれて、  
 ⑥ しゅうしんこようからはなれて、

- ① じぶんからたいしょくして、ベンチャーきぎょうをおこすひともいますね。  
 ② じぶんからたいしょくして、ベンチャーきぎょうをおこすひともいますね。  
 ③ じぶんからたいしょくして、ベンチャーきぎょうをおこすひともいますね。  
 ④ じぶんからたいしょくして、ベンチャーきぎょうをおこすひともいますね。  
 ⑤ じぶんからたいしょくして、ベンチャーきぎょうをおこすひともいますね。  
 ⑥ じぶんからたいしょくして、ベンチャーきぎょうをおこすひともいますね。

なお上記データの①～⑥の各学習者の日本語学習歴は以下のとおり

- ① ハバロフスク市極東国立人文大学東洋語学部日本語専攻 3 年在籍中  
(学習時間約2000時間)
- ② ハバロフスク市極東国立人文大学東洋語学部日本語専攻 3 年在籍中  
(学習時間約2000時間)
- ③ ハバロフスク市極東国立人文大学東洋語学部日本語専攻 3 年在籍中  
(学習時間約2000時間)
- ④ ハバロフスク市極東国立人文大学東洋語学部日本語専攻 3 年在籍中  
(学習時間約2000時間)
- ⑤ ハバロフスク市極東国立人文大学東洋語学部日本語専攻2008年 7 月卒業  
(学習時間約4500時間)
- ⑥ ハバロフスク市極東国立人文大学東洋語学部日本語専攻 3 年在籍中  
(学習時間約2000時間)

### 3. 4. 共通の間違い

- 1) 「が」、「も」、「や」、「に」などの助詞でトーンが上がる
- 2) 意味の切れ目に現れるテ形で、トーンが上がる
- 3) 拗音を含む語末の長音でトーンが上がる

ロシア語の特徴から推察できるように、ロシア人が日本語を話すとき、どうしても後ろから2拍目の母音にアクセントを付けて強く発音する癖がある。その結果、単語の最後のほうの短母音を長母音として発音し、しかもトーンを上げることが頻繁に見られた。

前述のとおり、ロシア語ではアクセントを付ける音節（その中の母音）は長く、強く発音される。日本語を学習するロシア人はこの特徴を自分の癖として理解し、改善するように常に努力する必要がある。

## 4. これからの課題

この10ヵ月のトレーニングで、自分で認識できるレベルまで、日本語の初話時のトーンと拍感覚が上達した。アクセントのつけ方の基本パターンを習得して、少なくとも日本語で音読する時には意識的にそれを生かせるようになった。その結果、少しずつではあるが、日本語らしく読めるようになった。

しかし、まだまだ、困難なところがある。それは拍感覚につながる短音と長音の区別である。長音と短音の違いが、まだなかなか耳に聞こえてこない。具体的には長母音は出せるが、短母音がどうしても出せずに、長母音として発話してしまう傾向がある。

日本語は短音と長音の区別が言葉の意味を決める。これは日本語を発話する際に、ある種最も大事なことなので、この問題点はこれから修正する必要がある。

## 5. おわりに

本稿でロシア語と日本語の音声的特徴の違いを示したことで、自分自身の日本語の発話の間違いを意識できるようになった。実際に間違いも減ったように感じられる。1年間の新潟大学留学で得た音声についての知識とトレーニング方法を、自身の将来に生かしたいと思う。

### 参考文献

1. Amelina. A.N.(2007)*Active processes in Russian language*. MoscowEkspertiza.
2. Valgina.N.C., Rozental.D.E., Fomina. M.I.(2002)*Modern Russian language*. Moscow. The sixth edition.
3. Kasevich.V.B., Shabelnikov. E.M., Ribin. V.V.,(1990)*Stress and tone in the language and speech activity*. Moscow.
4. Kuznecova E.V. “*Nature and Functions of secondary stress in the Russian language*” Lomonosov Moscow State University language and literature department 2003.
5. Reformatorski, A.A(1999)*Introduction of linguistics*. Moscow:Aspekt – press.
6. Reznichenko. I.L.,(2003)*Pronouncing dictionary of Russian language. Pronunciation and accent*. Moscow:Astrel
7. Rozental, D.E., Djandjakova. E.V., Kabanova.N.N(1998)*Orthography, pronunciation, literary editing handbook*. Moscow. Second edition.
8. 小熊利江 (2008) 『発話リズムと日本語教育』 風間書房